

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 遠藤家之進 正和  
新潟県山岳協会  
新潟市南区鷺ノ木新田1049  
TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一  
長岡市高畑町610-10  
TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集  
委員会代表 浅野亘寛  
TEL 0258-52-3998



熱心に研修をうける参加者

## 指導技術委員会&遭難対策委員会の 合同講習会実施しました

遭難対策委員会副委員長  
井 春 文 (南魚山岳の会)

去る6月20日(21日、新発田市杉滝岩(駐車場脇斜面)、農村婦人の家に於いて、指導技術委員会と遭難対策委員会合同の講習会が、講師に日本山岳協会遭難対策常任委員の渡邊輝男氏をお招きして開かれた。参加人数二日間で述べ120人。他に県警の玉木大

二郎氏、新発田の五十嵐博さんにも講師役で参加していた。内容は初歩的なロープの結び方と、それぞれのメリット、デメリットの解説。岩場でのレスキュー方法、搬送法等や一般登山でのセルフレスキューなど。常に新しい技術を研究し、山岳レスキュー

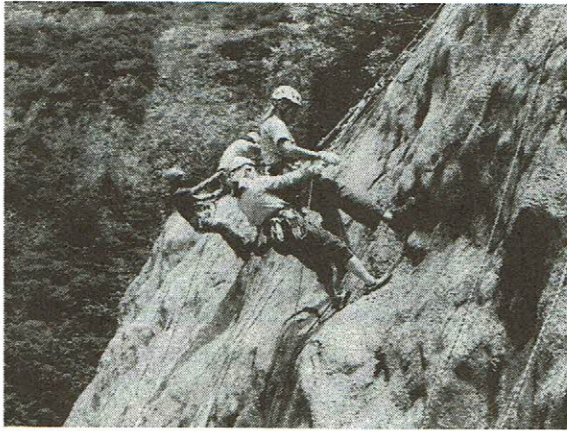
の第一線で活躍されている渡邊氏の解説と実技指導は説得力があり、初心者から上級者まで大変解りやすかったと思う。しかし用語について山協の統一事項の呼び名(用語)と旧来からの呼び名との違いがあり若干の戸惑いもあった。懸垂下降はラックベル(ラッペリ

ング)、インクノット(マスト結び)はクローブヒッチ、半マストはムンターヒッチ等々。日本山岳協会では、ドイツ語、フランス語等が混在していた呼び名を英語(米語)呼びに統一しているそうです。講習会でもそのように指導しています。

冒頭に渡邊氏はレスキューに限らず岩場でのロープワークの基本は三つのS。早くて(speed)、安全で(safety)、シンプル(simple)な方法を選ぶ。状況に応じてどの方法を選ぶかは日頃から練習を積み重ねることが大切であると言われた。それもテンションのかかった実際の状況に近い状態での練習でないと、あまり意味がないとも言われた。現在、数々のデバイスが出回っている、それらを活用するのも三つのSに通じることだと思ふ。自分の山行形態にあった必要最低限の方法は、日頃から慣れておくことが大切であろう。具体的には①フリクションノットについて(オートブロック、クレムヘイスト、バックマンブルーシック等)。②メインロープの結び方(エイトノット、インラ

インフィギアエイトノット、クローブヒッチ、ボラーライン等)③懸垂下降、仮固定技術(ムンターヒッチ、フリクションノットの応用、下降スピードのコントロール等)④ビレイヤーの緊急時自己脱出方法(メインロープの仮固定と自己脱出法)⑤岩場での振り分け救助方法(デイスチエーションを使つての振り分け、ローダウン、スピードコントロール)⑥救急法⑦ザックを使つての搬送法⑧一般登山のセルフレスキュー等です。一般登山でのセルフレスキューに必要な装備としては、6ミリか8ミリの10m補助ロープ、ソ

ウンスリング120センチ一本、60センチ2本、安全環付カラビナ1枚、カラビナ2枚を入れたほうがよい。カラビナは鎖にも掛けられるように、少し大きめなものがよい。ロープは悪場が多く積極的に使うことが予想される場合は8ミリ、岩場や急斜面もなく、万一のために持つのであれば6ミリで良い。縦走路で悪場において恐怖感を持つ人にリーダーは積極的にロープで補助してやるのが、おっかなびっくりり歩かせるよりもリスクが



実技に汗を流す

少なく、早く通過できることが多い。それに多少時間を費やしても恐怖感を持つ人に安心感を与え、疲労度も軽減される。そのためにも日頃から練習して、素早くセッティングしてやることもリーダーとして役目であるという。座学では、事故発生時、緊急時の連絡方法として、現在は携帯電話が主流を占めているが、

山岳地帯は通話が出来ない場所があるので通話は禁物である。通過地点の電波状況を確認しておくことが、すばやい連絡につながり、通話が不可

能でもメールは通じる場合がある。また高性能で小型化されているアマチュア無線機の併用は有効な連絡手段であると話される。更に県警の玉木さんから、第三世代携帯電話で、GPS機能があるものは、その電話機の設定如何に係らず、携帯電話機から発信された110通報の場合に限り、発信地点の特定が出来る

との話があった。これは特定の警察署や山小屋、消防署等への発信時は対象外で、その場合は再度110へ掛けなおす必要があるという。通話可能エリアでの道迷い等では有効である。詳細の内容については全部報告できませんが、今回の講習内容は、山と溪谷社発行、登山技術全書⑩セルフレスキュー(渡邊輝男著)に詳しく掲載されています。初めての試みである合同の講習会は2日間を通して天気にも恵ま



熱い戦いを見せる男子選手

れ、参加者全員積極的に実践されて、大変有意義な講習会だったと思います。反省点も含めて次回に活かせたらと思

# リハール大会終わる「1」

強化総括責任者 渡邊 正之

(長岡ハイキングクラブ)

6月6日(土)・7日(日)上越市安塚区B&G海洋センターを会場に、第23回リードカップジャパン大会と新潟国体リハール大会が開催された。リードカップは2日間、6日予選、7日午前中準決勝、午後から決勝の日程が組んであった。準決勝までは、2つのリード壁を使って男女選手が同時進行で登った。決勝は女子の競技が終了してから、男子の競技になった。リハールのボルダリング大会は6日のみで、午前中に予選、

午後には決勝の競技があった。ボルダリング競技の申し込みは、男子9チーム、女子7チームと耳にしていた。

泊申し込みや弁当の申し込み手続きも同様であった。しかし、国体山岳競技は監督・選手を1チームとした団体競技である。今回のリード競技はまったくの個人競技であり、ボルダリングは出場がふたり1組であっても、監督はいない。たぶんは、個人申し込み手続きを国体同様な団体チーム申し込みの形にしたので、いくらか無理が生じたのである。リード競技大会参加料はひとり5000円、その他に日本山岳協会選手登録料が成年2000円、少年1000円必要になる。4月27日までに申し込み書類を郵送し、5月13日までに申し込み受付確認通知書が上越市から個人宛返送される。その封書の中に記載してあるID番号を使って上越市の口座に事前振込をする。ボルダリング競技も同様で、事前に大会参加料を事前振り込みしなければならぬ。1チーム6000円となっているので、ひとり3000円ずつでいいの、チームとして6000円振り込むべきなのか、個人ID番号をもらったボルダリング選手は迷ったのでなかろうか。男子で申し

会場の上越市は平成の大会併によって13の市町村が一緒になった。新潟国体ではソフトテニス、ハンドボール、フットボール、体操、山岳と5つの正式競技と3つの公開競技の会場を受け持っている。このうち7つのリハール大会は昨年で終わっていた。山岳競技のリハール大会のみが、今年行われる。上越市国体実行委員会では、すでに実施済み他競技と同じようにリハール大会が進むものと準備していた。大会出場個人の申し込み手続きを、国体本番と同じ様なやり方で処理出来るものと考え、実行した。宿



熱い戦いを見せる女子選手

込み手続きはしたが、お金を振り込まなかった個人やチームもあったらしい。市役所の口座とあって、一旦入金すると出場を取り消しても返金されることはない。

宿泊申し込みや弁当についても新潟国体本番を意識した形式になっていた。来会意向調査の様式で、各県ごとに責任者がいて、出場申し込み選手をまとめて全員記入することになっていた。今回は監督が存在しないので、それぞれ都道府県単位でまとめて申し込みをしたのか、まったく個人で申し込みなのか結果発表されていないので分からない。新潟国体候補選手はまとめて申し込みをし、参加料もま

とめて口座振り込みをした。しかし、新潟県出場選手全員が国体候補選手ではないので、他の選手の申し込み方法は不明である。大会中、弁当を受け取りに来た他県選手が申し込みはしてあったが、入金が済んでなかったという話を後からえなかったという話を後で聞いた。新潟県から16名競技に参加したが、男子4名、女子6名としか私は関わって

はいいない。1名のみ2日間の宿泊申し込みをしたが、直前になって取り消しをした。いづれも、6日の予選を突破したら、その時点で宿探しをするつもりのような。安塚に泊まらなくても牧区や柿崎区に行ってもいいし、上越市内まで足を伸ばせばビジネスホテルもある。新潟国体になれば宿泊が義務づけられている。しかし、宿泊費は全額支給される。宿泊取り消し確認の電話を担当旅行社に入れたところ、新潟県の選手はまったく誰も泊まらないのですねと言われた。上越市国体局担当者は、昨年実施した競技のリハール大会では全てうまくいったのに、なぜ山岳競技だけぐはぐ場面が多いのか戸惑っ

たことであろう。1週間前の5月31日、同じ会場・施設を使って、2009新潟カップ兼新潟国体予選会をやった。こちらには小学生から成年まで、例年より多くの選手が参加した。当日は雨がかなり激しく降って、リード競技出場選手もビレイヤ、審判等は大変であった。リード最後の成年男子決勝では、選手曰く、ロープをたぐるとそのロープから水がしたたる。ガバホールドをつかむと、指先が水に沈む。ホールドの内側に雨水が貯まっていた。壁下部のボードの繋ぎ目やホールドを付けていないボルト用の穴から、ボード表面に雨水が噴き出すように垂れてくる。今回2日目(7日)の決勝で雨が降った。雨足は前の週のように大振りにならず、助かった。傘がないと不安だが、会場から立ち去るほどもないという程度であった。

内藤 修(直江津山岳会)室賀輝男(長岡ハイキングクラブ)藤井 信(長岡ハイキングクラブ)馬場潤一郎(県山岳協会)顧問)山崎幸和(越後吉田山岳会)坂井 厚(岐阜山岳会)一峰会 加盟団体)井出秀雄(岐阜山岳会)七澤恭四郎(高田ハイキングクラブ)

第23回 リードカップ  
ジャパン大会 成績抜粋

- ◆女子 参加38名
- 1位 小林 由佳(茨城)
  - 2位 小田 桃花(山口)
  - 3位 安田あとり(山梨)
  - 22位 片桐麻由子(新潟)
  - 27位 塚本菜々香(新潟)
  - 29位 瀧澤 愉未(新潟)
- 以下次号へ

賛助会員入会  
ご入金のお礼

次の皆様から、ご入会、ご入金を頂きましたので、ご報告させて頂きます。

\*6月12日~6月25日現在の  
ご入会、ご入金状況です。

海外・国内旅行、主催・手配

**JUMPING TOUR** ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第550号・IATA代理店(社) 日本旅行業協会会員  
本社 新潟県新潟市東区1丁目3番5号

http://www.uks.co.jp

☎ (0258)33-7123  
☎ (025)246-2266

- ◆男子 参加53名
- 1位 安間 佐千(栃木)
  - 2位 樋口 純裕(佐賀)

新潟県山岳協会  
(敬称略、順不同)

会長 遠藤家之進正和  
理事長 森 庄一  
総務委員長 遠藤 俊一

JTB Your Global Lifestyle Partner

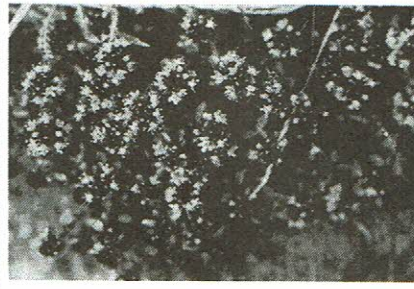
70th Anniversary

**JTB関東 法人営業新潟支店**

新潟市中央区古町通6-976  
TEL: 025-224-2201 FAX: 025-229-5775  
http://www.jtb.co.jp/shop/houjinnigata/  
※「旅」の最新情報、ご覧になれます。  
E-mail: h\_mitani388@jtb.jp



イブキジャコウソウ  
雪倉岳 7月26日



母種 フェルト・テイミアン  
ピレネー山脈 6月27日

県内山岳の高山帯や佐渡の山にみられ品種名 *ibukienses* (伊吹山で発見された) で母種はヨーロッパのフィールド・テューミアン (独) *feldthymion* ~ 野原のタチジャコウソウ。「ジャコウソウの香りする」よりの名で、ジャコウとは麝 (ジャコウ) という獣より出ずる香料の名 (麝香)。属名のタイムスとは胸腺で香りの意であるが、本来乳の香りから胸腺という。ドイツ語では *thymion* で香辛料の意。また英語では *thyme* と書き同じ意。

越後の山に見られる  
変種植物

むささび会 加藤 明文

Thymus

◆ イブキジャコウソウ属  
③6 イブキジャコウソウ

編集こうき

▲本格的な夏山シーズンを前に大雪山系のトムラウシ山・美瑛岳で悲惨な遭難事故が発生した。あまりにも人為的なミスが原因のため言葉も出ない。大量遭難者死亡の原因が低体温症と報道している。夏でも北海道では2000m級の山でも緯度・経度の違いから本州の3000m以上の山での低温、強風、みぞれ、雪など悪条件の中での登行に匹敵すると言われている。ガイドの経験、資質と信頼関係にも問題があったようだが、企画したのが業界では有名旅行社とはいえ商業登山そのものの弱点が多く遭難者を出したといふべきだろう。

▲中高年を中心に寄り合い所帯の登山、トレッキングなどが多い中、昨年の全国の遭難事故は1631件、死者・行方不明者は281人に上った。死者・不明者の91%を中高年が占めているという。県内も同傾向で県警によると昨年は64件の発生で遭難者73人、死者12人、で死者の半分は65歳位までの中高年とある。問題視したいのが例年、山を甘くみて遭難する事例が絶えない事だ。人の後ろから有名な山

ばかりの、いいところ取りのつまみ食い山行が目立ち、自信過剰が事故を生んでいる。謙虚さがなく、組織的な研鑽を踏まない無組織登山者が多いとの事だ。

▲地の夏野菜が多く出回っている。西寧から崑崙へのキャラバン途中での食事といえ、招待所や街道沿いの食堂でも必ず出てくるメニューの一つ「トマトと卵のふわふわ炒め」を思い出した。トマトを主役に様々な野菜を使うが、今日は冷蔵庫にある大ぶりのトマト、キュウリ、ジャガイモ各1を使う。トマトは大きく3口大(身くずれしないように皮つきのまま)、キュウリは5cmの長さを小指の太さに、ジャガイモは千切りに、良く熱した中華ナベに野菜炒めには少し多い位のサラダ油に火の通りにくいジャガイモからキュウリと炒めて、軽く塩、コショウをする。バターかマーガリンを少し加え、トマトを入れ軽く炒めて醤油で味を調える。溶きタマゴ1~2個を回し入れ火を止めて2~3分置けば出来上がり。トマトを入れてから炒めすぎない事と、味を濃くしないのがコツ。ウメキ声が出るほど美味い。

会報・編集 浅野

登山・ハイキング・クライミング  
テレマーク&山スキー



パーマーク  
長岡市西宮内2-97 (長岡市役所裏通り)  
TEL0258 (37)1200-FAX0258 (33)1164  
●営業時間/AM10:30~PM6:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134代  
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm